

## 「長野県地衣類誌資料」の創刊にあたって

原田 浩<sup>1)</sup>・出川 洋介<sup>2)</sup>: 1) 千葉県立中央博物館 〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2, e-mail: harada@chiba-muse.or.jp, 2) 筑波大学菅平高原実験センター 〒386-2204 長野県上田市菅平高原 1278-294

HARADA Hiroshi & DEGAWA Yousuke. 2017. Preface to the first issue of “Nagano-ken Chii-rui-shi Shiryo” (Contributions to the Natural History of lichens in Nagano-ken or Nagano Prefecture, central Japan). Nagano-ken Chii-rui-shi Shiryo (1): 1.

長野県産の地衣類に関する記録は、「浅南北蓼地衣蘚苔目録 其一」（大日向 1910）に始まり、「日本産地衣類図説」（安田 1925），更に 1930 年代からは朝比奈泰彦の多数の論文に現れた。朝比奈は，含有化学成分を分類形質として重視した，地衣類の化学分類を確立した人で，主として日本産大型地衣類を研究し，ハナゴケ属（朝比奈 1950），広義ウメノキゴケ属（朝比奈 1952），サルオガセ属（朝比奈 1956）などのモノグラフ中には，多くの種の産地として長野県の地名が挙げられている。その後も多くの分類学者が，論文の中で長野県産標本を挙げた。山本（2009）は，こういった文献情報をチェックリストとしてまとめたが，それによると長野県からは 310 種が記録されたことが判った。

一方，「長野県版レッドデータブック 非維管束植物編・植物群落編 2005」（長野県 2005）では 82 種が扱われた。これを見直し，「長野県版レッドリスト 植物編 2014」（長野県 2014）発行の準備のためのメンバーとして唯一の地衣類研究者として，原田が協力者として参加することになった。それを進めていく過程で，先のレッドデータブックに掲載された種の選定の根拠・理由が極めて解りにくいことを知った。またチェックリスト（山本 2009）を見ても，産地がとても限られていて，長野県の地衣類多様性が明らかになったとは言い難い状況であることを知った。長野県は有名な山岳によって囲まれているが，既知の産地のほとんどはそのような場所に限られており，低地などはほとんど調査されていないことも判った。また，山岳地帯についても，フロア調査がほとんどなされていないため，情報は十分とは言えなかった。従って，レッドデータブック（あるいはレッドリスト）の信頼性を高めるためにも，どこに何が分布するかという情報を蓄積していくことの重要性を感じた。

最近になり，上田市の松崎務氏が地衣類に興味を持ち，千葉

県立中央博物館市民研究員として原田の指導を受けるようになった。上の事実を受けて，上田市周辺の地衣類フロア解明をテーマとし，多数の地点で調査を行っている。調査が進むうちに，低地で採集される地衣類の中には，長野県から記録が無い，あるいは少ない種がとても多いことが判明した。予想通りだった。そのような 15 種は，日本地衣学会の会誌 *Lichenology* で発表することができた（松崎他 2016）。しかし，長野県における地衣類の詳細な情報を記録するためには，そのような特筆に値する種以外も全て記録していくことが必須なのだが，それを発表するための媒体が無かった。

そこで，千葉県の例（原田 2016）にならって，本誌「長野県地衣類誌資料」の発刊を企画するに至った。本誌は，長野県内における地衣類調査の結果を随時掲載していく予定である。

## 引用文献

- 朝比奈 泰彦. 1950. 日本ノ地衣 第一冊 ハナゴケ属. 255 pp., 18 pls. 資源科学研究所, 東京.
- 朝比奈 泰彦. 1952. 日本ノ地衣 第二冊 ウメノキゴケ属. 162 pp., 23 pls. 資源科学研究所, 東京.
- 朝比奈 泰彦. 1956. 日本ノ地衣 第三冊 サルオガセ属. 129 pp., 24 pls. 資源科学研究所, 東京.
- 原田 浩 (編). 2016. 千葉県地衣類誌資料, No. 1. 2 pp. 地衣類調査会, 千葉市.
- 松崎 務・吉川 裕子・出川 洋介・原田 浩. 2016. 分布資料 (43). 長野県上田市産地衣類15種. *Lichenology* 15: 119-122.
- 長野県. 2005. 長野県版レッドデータブック ～長野県の絶滅のおそれのある野生生物～ 非維管束植物編・植物群落編 2005. 1-10, 1-205. 長野県環境保全研究所・長野県生活環境部環境自然保護課, 長野市.
- 長野県. 2014. 長野県版レッドリスト ～長野県の絶滅のおそれのある野生動植物～ 植物編 2014. 1-8, 1-225. 長野県環境部自然保護課・長野県環境保全研究所自然保護部, 長野市.
- 大日向 全龍. 1910. 浅南北蓼地衣蘚苔目録 其一. *Bot. Mag. Tokyo* 24: 229-232.
- 山本 好和. 2009. 都道府県別地衣類チェックリスト (5). 中部地方. *Lichenology* 8: 171-269.
- 安田 篤. 1925. 日本産地衣類図説. 118 pp. 斎藤報恩会, 仙台.

\*\*\*\*\*

## 長野県地衣類調査記録, (1)上田市富士山佐加神社

松崎 務<sup>1,2)</sup>・原田 浩<sup>3)</sup>: 1) 千葉県立中央博物館 市民研究員; 2) 菅平高原実験センターナチュラリスト; 3) 千葉県立中央博物館 〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2, e-mail: harada@chiba-muse.or.jp

MATSUZAKI Tsutomu & HARADA Hiroshi. 2017. Records of surveys on lichen flora in Nagano-ken, central Japan, (1). Nagano-ken Chii-ruishi Shiryo (1): 1-2.

長野県における地衣類の分布については断片的な情報しかないため、筆頭著者の松崎が居住する上田市において詳細な調査を開始した。これによって、県内からは全く記録が無かったあるいはほとんど記録が無かった、暖温帯性の種を多数の地点から発見し、既に報告した(松崎他 2016)。しかしそのような特筆に値する種を報告するだけでは、当地における地衣類の分布の詳細を明らかにすることはできないため、各調査地点において確認した種に関する情報を記録していく必要性を感じた。そこで、以下のように調査を進め、その結果を本誌上にて掲載していく計画を立てた。

本研究の最終的な目標は、上田市域における地衣類のリストを完成すること、分布状況を把握すること、多様性の評価を行うことである。そのために、市域において、神社や寺院の境内のように直径が概ね 20 ~ 100m かそれ以下の狭い場所を調査地点として、そこに出現する全地衣種を網羅するよう採集に努める。特に大型地衣(葉状地衣と樹状地衣)を対象とし、同定が困難な痲状地衣は当面は除くこととする。上田市内のどこを

どのような順序で調査していくかという方針は当面の間は定めず、地点数を増やしていき、本誌上に報告を重ねる。調査地点が 10 か所、あるいは 20 か所に達した時点で、調査地点の選定に関する方針を見直していく。

本稿は、その第 1 報として、上田市東塩田地区にある佐加神社における調査結果を報告する。

### 調査地について

県中央の松本市の北東側かつ長野市の南側に位置する上田市(図 1 左上)において、調査地の佐加神社は中央のやや南西に位置し(図 1 左下)、塩田地区に属する。この地区は、周囲を山に囲まれ、中央部は盆地状の地形となっており塩田平と呼ばれる。佐加神社は塩田平の東部に位置する一集落の神社である(図 1 右)。周囲は畑、道路、少しの人家に囲まれている。神社の境内は 80 × 50 m ほどで、小さな社殿がある。地面は地元

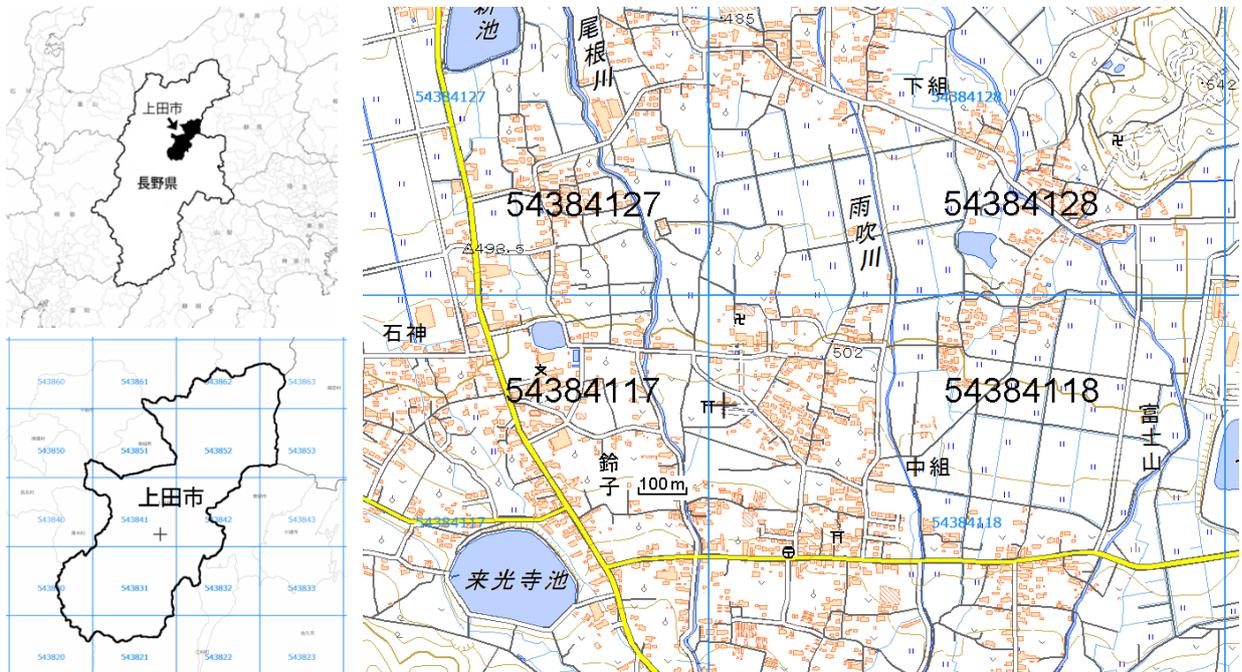


図 1. 調査地. 左上図は長野県と上田市の位置を、左下図は上田市における調査地(+印)の位置を示す。右図は調査地の位置(+付近)とその周辺を示す。3 図とも地理院地図(電子国土 Web)のうち、左上は白地図を、左下は白地図に 2 次メッシュを表示、右は標準地図に 3 次メッシュを表示した地図を用いた。



図2. 調査地のようす。左上, 神社中央部。左下, 北側の道路に面した落葉樹の高木。右, その根元付近には多くの地衣が着生していた。

て裸地となっている部分もあるが、雑草や枯葉などに覆われている部分も多い(図2左上, 左下)。石造物は少なくそこには大型地衣は着いていない。敷地の南側は、杉やヒノキの木が多く日陰で葉状地衣はほとんど無い、北側は道路に面して開けていて落葉樹の高木が数本あり、そこに地衣類が多く着生している(図2右)。

#### 方法

野外調査は松崎があたった。現地で同定を試み、可能な限り多くの種を採集し、全種を網羅するよう努めた。調査は2016年の2月の3日間を行い、収集した標本を同定、更に、原田が同定を確認した。また、リストの完成を図るため、2017年2月25日に補足調査を行い、見落とし種の発見に努めた。リストは、全て標本の同定結果に基づく。

**産地等情報:** 長野上田市富士山佐加神社 / Nagano-ken, Ueda-shi, Fujiyama, Saga Shrine, 36.36347965 - 36.348040 N, 138.225630 - 138.225710E, 3次メッシュ = 54384118, 標高 504 - 505 m / 504 - 505 m elev., 2016.02.05, 07 & 09. [標本は全て千葉県立中央博物館(CBMと明記。FLと後の数字を合わせて、館の地衣類資料登録番号を示す)と筑波大学菅平高原実験センターに保管]

#### 確認された種 / Lichen species recognized

- 1) *Candelaria concolor* (Dicks.) Stein/ ロウソクゴケ: on trunk of deciduous hardwood, coll. T.Matsuzaki no. 298 (CBM-FL-201814)
- 2) *Dirinaria applanata* (Fee) D.D.Awasthi/ コフキチリナリア: on trunk of deciduous hardwood, coll. T.Matsuzaki no. 305 (CBM-FL-201821)
- 3) *Flavoparmelia caperata* (L.) Hale/ キウメノキゴケ: on trunk of deciduous hardwood, coll. T.Matsuzaki no. 299 (CBM-FL-201815)
- 4) *Hyperphyscia crocata* Kashiw./ ヒラムシゴケ: on trunk of *Zelkova serrata*, coll. T.Matsuzaki no. 296 (CBM-FL-201812)
- 5) *Parmotrema austrosinense* (Zahlbr.) Hale/ ナミガタウメノキゴケ: on trunk of deciduous hardwood, coll. T.Matsuzaki no. 300 (CBM-FL-201816)
- 6) *Parmotrema tinctorum* (Nyl.) Hale/ ウメノキゴケ: on trunk of deciduous hardwood, coll. T.Matsuzaki no. 303 (CBM-FL-201819)
- 7) *Phaeophyscia limbata* (Poelt) Kashiw./ クロウラムカデゴケ: on trunk of *Zelkova serrata*, coll. T.Matsuzaki no. 297 (CBM-FL-201813)
- 8) *Punctelia borreri* (Sm.) Krog/ ハクテンゴケ: on trunk of deciduous hardwood, coll. T.Matsuzaki no. 301 (CBM-FL-201817)
- 9) *Punctelia rudecta* (Ach.) Krog/ トゲハクテンゴケ: on trunk of deciduous hardwood, coll. T.Matsuzaki no. 304 (CBM-FL-201820)
- 10) *Rimelia reticulata* (Taylor) Hale & Fletcher/ オオマツゲゴケ: on trunk of deciduous hardwood, coll. T.Matsuzaki no. 302 (CBM-FL-201818)



図3. 落葉広葉樹樹幹上の葉状地衣. 中央にはメノキゴケ (pt) . 周りにはコフキチリナリア (da) とトゲハクテンゴケ (pr) も見える. 2016年2月7日撮影.

#### ノート

10種が確認された。いずれも落葉広葉樹樹幹上で得られたもので、岩上と地上からは1種も得られなかった。10種のいずれも暖温帯で比較的普通に見られる種である。このような種の長野県内における分布は、従来はほとんど知られていなかったが、最近、著者らにより（松崎他 2016）報告された。これには今回確認されたコフキチリナリア *Dirinaria applanata*, ヒラムシゴケ *Hyperphyscia crocata*, ナミガタウメノキゴケ *Parmotrema austrosinense*, ウメノキゴケ *Parmotrema tinctorum* が含まれる。このうちウメノキゴケは、従来は井上

（1983）による飯田市からの記録が唯一であったが、著者らに調査により上田市では今回対象とした佐加神社とあと1地点のみで確認されたに過ぎない（松崎他 2016）。

**謝辞** — 松崎は本調査を実施するにあたって、出川洋介先生（筑波大学菅平高原実験センター）に様々な面でお世話になった。御礼申し上げます。

#### 引用文献

- 井上 正鉄. 1983. 木曾山脈松川流域（天竜川水系）の地衣類. 天竜川水系中流部流域の自然と社会総合学術報告書, pp. 357-378.  
松崎 務・吉川 裕子・出川 洋介・原田 浩. 2016. 分布資料（43）. 長野県上田市産地衣類 15 種. *Lichenology* 15: 119-122.

\*\*\*\*\*

長野県地衣類誌資料 No. 1/ Nagano-ken Chii-ri-shi Shiryō, no. 1  
2017年 3月 28日発行/ published 28 March 2017  
編集: 原田浩/ edited by H. Harada  
発行者: 地衣類調査会/ published by "Chii-ri Chosa-kai" (Lichen Research Group) [c/o H. Harada D.Sc., e-mail: harada@chiba-muse.or.jp]  
千葉県立中央博物館（千葉市）内/ in Chiba-shi, Japan  
© Chii-ri Chosa-kai